

## 「みんなで力あわせる大切さ、パワー感じた」気迫の看護講演 10春のナースウェーブ行動に93名！



5/16（日）、県医労連は県内12病院などで働く看護師を中心に93名の参加で、「2010春のナースウェーブ行動」を成功させました。記念講演は、日本医労連顧問の大村淑美さん。「輝いていますか？あなたの看護。」と題し、看護のやりがいや魅力、夜間労働の有害性をめぐる最新の国際的知見などから、医労連の後輩たちに向けた激励を、気迫イッパイに語り起こしていただきました。

### 「”手と眼で見る”こと、これからも忘れず頑張りたいと思います。」（20代・看護師）

「看護には“これで十分”という限界が無い。患者さんと接し、自身の成長ともつながっている。自分の看護の羅針盤を持とう！」と、ご自身の看護体験をもとに語る大村さん。「疲れた体とよどんだ心から、よい看護は生まれてこない！」という言葉に続けて、夜勤規制の必要性、医労連のかちとった成果、そして当面する課題へとすすむ話に、つよい説得力がありました。



### 「忙しいけどしょうがないと思っていたけど、そうではダメなんだと」（20代・看護師）

「夜勤が人間にとって有害であることは常識。いま世界的に問題になっているのは12時間夜勤の制限であって、外国に“16時間夜勤”という言葉はない。立ち遅れた日本の看護現場を改善するため、「医労連の果たす役割は大きい。集まって、行動してこそ展望は開ける！」と結ばれた講演は、参加された仲間の心にもシッカリ伝わったようです。

### さっそく行動！ イッキ456筆！！

早速行動！ということで、元安橋から本通商店街にかけて署名宣伝に。たくさんの新人ナースもズラリ並んで呼びかけ、反応もよく、30分で456筆を集めました 【⇒ ウラ面につづく】



【⇒ オモテ面からの続き】

## 「みんなで力を合わせる大切さ、パワーを感じることができて楽しかった」(30代・看護師)

職場交流では、全日赤広島原爆赤十字病院労組から、「休日手当裁判」の勝利解決が報告されました。「手当は組合との協約に基づき支払われてきたもの。事実を歪め、一方的に打ち切り強行した、病院のやり方が許せなかった」と、原告に加わった仲間。全国からの支援、組合と弁護団で集めた証拠や道理ある主張が力を発揮し、日赤本社も争うことを諦めざるを得なかったと、「たたかって良かった」との報告に、大きな拍手が集まりました。



続いて広島市市民病院労組からは、「17年ぶりの条例改定による定数増87名をかちとり、“増員でよい看護”の要求で前進」と報告。職場の要求をしっかりと聞き、団結した行動と交渉での追及で、引き続き看護体制の充実につなげていく決意が、語られました。

続いて広島市市民病院労組からは、「17年ぶりの条例改定による定数増87名をかちとり、“増員でよい看護”の要求で前進」と報告。職場の要求をしっかりと聞き、団結した行動と交渉での追及で、引き続き看護体制の充実につなげていく決意が、語られました。

## 「自分たちが、行動を起こしていかなければならないと感じました。」(20代・看護師)



集会であいさつに立った亀井執行委員長は、「日本は世界一の長寿国なのに、あたたかい医療ができていますでしょうか？」と医療の現状とナースウェーブ行動の歩みを振り返り、「地域へ出て、看護や医療をよくする声を広げよう！」と呼びかけると共に、現在ニューヨークで開かれているNPT会議に呼応し、現地で核兵器廃絶をうったえる代表団の1人として行動した経験を報告し、「核兵器のない世界へ、広がる国際的共同でも、私たちが先頭に立って奮闘しよう」と、力強くうったえました。

### 【寄せられた感想の一部を紹介します \(\wedge\wedge\)】

- \* 私は新人として今回の講演に参加させて頂きました。まだ夜勤等に出たことにはないのですが、看護現場の厳しい現状を知ることができました。自分たちが健康であってこそ、患者さんに安全・安楽な看護を提供できることをしっかりと受けとめ、なにかあれば医労連という仲間がいることを意識して、働いていきたいと思います。(20代・看護師)
- \* 労働実態が厳しくなる一方で、この状況を変えたいという気持ちは強いのです。今日は、それを科学的に、第三者の立場から見ても今の実態が異常であることがわかり良かったです。(50代・看護師)
- \* “医労連が行動を起こさないと、変革はない”といういい“そういう自覚を持って、という言葉が印象的でした。ナースウェーブなどで、目的意識を共有した人が集うと、何かできそうな気がします。出来そうな気がするけど、現状はまだ変わっていないことに、悲しい感じがします。(20代・看護師)
- \* 大村さんのような上司の方だったら…と思います。元気でました。(40代・看護師)

